

平成30年8月10日
環境水道委員会資料
上下水道局

第三セクターの経営情報について

株式会社北九州ウォーターサービス
(平成29年度)

1 会社概要

(1) 主な事業内容

ア 市内の上下水道事業（浄水場の運転監視や浄化センターの中央操作など）

イ 水道事業の広域化事業（宗像地区事務組合の水道事業を一部受託）

ウ 上下水道の海外水ビジネス事業（国際技術協力や水ビジネス）

(2) 株式の状況

ア 資本金額： 100,000千円

イ 発行済株式総数： 10,000株

ウ 株主数： 7名

エ 本市の出資額： 54,000千円（出資比率：54%）

(3) 従業員数 253人（平成30年4月1日現在）

2 平成29年度事業報告

当社の中核事業である市内の浄水場や浄化センターの運転管理等業務などの市からの受託事業を着実に履行するとともに、広域連携事業にかかる宗像地区水道施設維持管理等業務についても順調に履行した。

また、海外事業においては、JICA 事業等に取り組み、ベトナム、インドネシア、カンボジア等で事業を展開した。

経営面では、昨年度に引き続き純利益を確保することができた。

(1) 受託事業

ア 水道・下水道・河川に係る施設等の維持管理等業務

(ア) 水道に係る受託業務

- ・ 給水装置工事審査・検査補助等業務
- ・ 井手浦浄水場運転監視等業務（道原浄水場の整備業務を含む）
- ・ 排水処理施設運転整備等業務

(イ) 下水道・河川に係る受託業務

- ・ 浄化センター中央操作等業務（水質検査補助業務を含む）
- ・ 新町・北湊浄化センター等運転整備等業務（浄化センターでの薬品選定等業務を含む）
- ・ 排水設備工事審査補助等業務
- ・ 竹馬川・貫川防潮水門監視業務

イ 広域連携に係る受託業務（宗像地区水道施設維持管理等業務）

ウ 北九州市海外水ビジネス推進協議会事務局業務

(2) 自主事業

ア 海外事業

(ア) 海外水ビジネス事業

- ・ JICA 中小企業海外展開支援事業「上向流式生物接触ろ過を活用した浄水処理の普及・実証事業」における水質分析関連業務
- ・ ジャカルタ特別州下水道整備にかかる計画策定能力向上プロジェクトに係るコンサルティング業務
- ・ JICA ハイフォン市アンズオン浄水場改善計画詳細設計
- ・ ベトナム・ホーチミン市タンヒエップ浄水場における U-BCF 整備基本設計業務の受注活動
- ・ コンポントム事業・運営権対応型無償を対象とする独自調査の実施
- ・ パプアニューギニアにおける下水道整備案件に関する現地の状況（治安面）調査

(イ) 国際協力事業

- ・ 平成 29 年度「水環境行政」コース研修実施
- ・ JICA 集団研修「下水道システム維持管理(B)」コース研修実施

イ 水道・下水道事業に係る公有地活用事業

ウ 福岡県下水道排水設備工事責任技術者試験事務等補助業務ほか

3 平成 29 年度財務状況

売上高	1,757,866 千円
当期純利益	51,377 千円

4 決算要旨

損益計算書

〔自 平成 29 年 4 月 1 日〕
〔至 平成 30 年 3 月 31 日〕

(単位：千円)

科 目	金 額
売上高	1,757,866
売上原価	1,488,464
売上総利益	269,402
販売費及び一般管理費	217,180
営業利益	52,222
営業外収益	32,901
営業外費用	0
経常利益	85,123
税引前当期純利益	85,123
法人税、住民税及び事業税	33,746
当期純利益	51,377

貸借対照表

〔平成 30 年 3 月 31 日現在〕

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産	397,532	流動負債	236,718
固定資産	55,308	固定負債	21,171
有形固定資産	28,611	負債合計	257,889
無形固定資産	7,221	純資産の部	
投資その他資産	19,476	株主資本	194,951
		資本金	100,000
		利益剰余金	94,951
		純資産合計	194,951
資産合計	452,840	負債・純資産合計	452,840